

じんけん探訪32

12月4日～10日は
人権週間です

人権週間とは

1948年12月10日、国連は「世界人権宣言」を採択しました。それを記念し、法務省と全国人権擁護委員会連合会が設定しました。

ところで、国連は「宣言」を具体化するためにさまざまな条約を作り、加盟国の人権水準を高める役割を果たしています。その一つに「障害者権利条約」があります。日本政府は同条約の批准に向けて環境整備を進めています。その一環として障害者基本法（「基本法」）や障害者雇用制度が改正され、障害者虐待防止法も制定されました。「基本法」改正のポイント①障がいのある人となない人が共生する社会を作る②障がい者が不利益を受けないように社会は配慮しなければならぬ（「合理的配慮」とい

う）などです。雇用面でも、障がい者の働く権利を保障するために企業に配慮を求めています。

障がい者法定雇用率は今年春から民間企業は2.0%、国・地方公共団体等は2.3%、都道府県等教育委員会は2.2%にそれぞれ引き上げられました。

エフピコ社の実践

エフピコ社（本社・福山市）はスーパードライなど使われる食品トレー（透明容器）の製造会社です。回収トレーから新たなトレーを作る「循環型リサイクル」が同社の特徴ですが、もう一つの特徴は障がい者雇用率が16%ということ。ベルトコンベアーの上を次々と流れてくる回収トレーの中から再生可能なものと不可能なものを瞬時に正確に選別する、この工程を担当するのは全て精神障がいの人たちです。

同社グループでは従業員3781人のうち、重度の精神障がい者および知的障

がい者が370人、それ以外に身体障がい者も雇用されており、障がい者雇用率は16%に上ります。

障がい者の理解を

「彼らは定着率が高く、退職者はほとんどいません。自分が必要とされていることをよく知っているからです」と同社は説明します（写真）。精神障がい者や知的障がい者への偏見や誤解には根強いものがありますが「1年かかるか2年かかるかわからないけれど、彼らを信じ、愛着を持って職業訓練をすればできるようになります。今まで健常者がやっていた選別をきちんとこなしています。当社で



主な関連行事

1. 「人権なんでも相談所」

日時 12月4日（水）午前10時～午後4時
場所 高松市生涯学習センター「まなびCAN」
（高松市片原町11番地1）

相談員 人権擁護委員、法務局職員
※当日、先着順で受付

2. 「四国一斉！12時間電話相談」

日時 12月4日（水）午前9時～午後9時
相談電話番号 ☎0120-459-737
相談員 人権擁護委員、法務局職員

3. 「じんけんフェスタ2013」

日時 12月7日（土）午前10時～午後4時
場所 サポートホール高松、高松シンボルタワー
内容 紙芝居、手作り工作コーナー等多彩な催し

▶問い合わせ 高松法務局 ☎087-815-5311

は障がい者を戦力と位置付け、単なる社会貢献や恩恵で採用しているのではありません」と断言します。同社の子会社に障がい者雇用企業「ダックス」と「愛パックス」があり、支援A型事業所があり、障がい者全員を正職員として雇用契約し、社会保障等も完備しています。

「障がい者週間」とは毎年12月3日から9日までの一週間。国民が障がい者福祉について関心と理解を深め、障がい者があらゆる分野で積極的に活動に参加する意欲を高める目的で設定されました。従来は「障がい者の日」（12月9日）でした。

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008

文化財を訪ねて 44

スギヤマゾウの象牙化石

（昭和45年11月3日指定
市指定有形文化財（考古資料））

三豊市で発見されている化石のうち、今回は動物化石として有名なスギヤマゾウの象牙化石を紹介し



▲スギヤマゾウの象牙化石

この象牙化石は大正15年に、財田町入樋の石樋山麓の棚田拡張工事中に見え、かつては河内小学校に寄付されていましたが、現在は山本町生涯学習センターに展示されています。現存する牙は6点の破片からなり、長さは1m、幅は最大で9.5cmあります。牙の形は、マンモスの牙のよう

に大きく曲がることはなく、直線的な形状をしています。スギヤマゾウは体高がおよそ1.8mの小柄な象であったとされ、この化石は約200万年前のものといわれています。スギヤマゾウの化石は、昭和9年に財田町入樋で行われた道路の開削工事の際にも発見されています。この時発見された化石の鑑定を早稲田大学に依頼したところ、新種の象として鑑定されました。スギヤマゾウの化石が発見された層からは、杉科の針葉樹である「メタセコイヤ」などの植物化石も見えています。財田町では、スギヤマゾウのほか、7500万年前に海で生息していたアンモナイトやウニの化石も確認されています。現在は阿讃山脈と財田川が作り出す豊かな田園が広がる財田町ですが、これらの化石は、大昔、実はこの場所が海の底であったことを示しています。

このように、昔の環境の変化を多く語ってくれる化石が、私たちの足下にまだ眠っているのかもしれない。

▼問い合わせ 生涯学習課 ☎62・1113

少年育成センター

白ポストの有害図書等回収・処分

青少年の目に触れさせたくない有害図書、ビデオテープ、DVD等、白ポストに入れられたものを回収、処分しています。今年度は全部の白ポストのペ



▲市内17箇所ある白ポスト回収

喫煙防止キャンペーン（7月12日）

市内の各駅で煙草販売協同組合員と協力して未成年者の喫煙防止を呼びかけると共に、駅構内や周辺の清掃をしました。



補導車による広報活動

◎夏の青少年非行防止県民運動 子どもたちにとっては、楽しい夏

みつめよう正しい行動 自分の未来

『三豊市少年を守る会』とは青少年の健全な育成を推進するために各地区の39人の有志で組織し、「地域の子どもは、地域で守り育てる」を合言葉に、少年を守るための育成活動を行っています。

休みですが、ちょっとしたことから、非行に走ったり、被害にあわないよう注意を呼びかけながら市内を巡回しました。

◎子ども・若者育成支援強調月間 心豊かにたくましく成長することを願って、11月1日から広報車で非行防止を呼びかけ、市内を巡回しました。

万引き防止キャンペーン

万引き防止ののぼりを揚げ、買い物客に万引きの防止を訴えました。



地域安全キャンペーン

みなで力を合わせて犯罪や事故等のない安全・安心で明るく住みよい町づくりをめざして三豊警察署前でキャンペーンを行いました。

▼問い合わせ 少年育成センター ☎62・1115